

2018年度 秋季特別展

平和博物館における戦争体験継承のための展示モデル構築プロジェクト成果展示

8月6日

私達はなぜ、受け継ぐのか

ワンピース 立命館大学国際平和ミュージアム蔵

AUGUST 6

2018年 11月6日(火)～12月16日(日)

立命館大学国際平和ミュージアム1階 中野記念ホール

開館時間 9:30～16:30(入館は16:00まで) 休館日 月曜日、11月24日(土)

入館料 大人 400円(350円)／中・高校生 300円(250円)／小学生 200円(150円)

※()内は20名以上の団体料金 ※常設展見学可 ※関西文化の日(11/17・18)は無料公開
会期中に関連企画を開催予定。詳細はホームページにてお知らせします。

主催:立命館大学国際平和ミュージアム

後援:京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都市内博物館施設連絡協議会

NHK京都放送局、KBS京都、朝日新聞社、京都新聞、毎日新聞京都支局、読売新聞社

助成:日本学術振興会 科学研究費助成事業16K12814

立命館大学
国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace,
Ritsumeikan University

日本平和博物館会議
Association of Japanese Museums for Peace

科研費
KAKENHI

京博連

2018年度 秋季特別展

平和博物館における戦争体験継承のための展示モデル構築プロジェクト成果展示

8月6日

私達はなぜ、受け継ぐのか

戦後73年が経ち戦争体験者が減少する中、体験継承の重要性が唱えられていますが、博物館はどのように戦争体験にアプローチすることができるのでしょうか。本展では、“8月6日”を手がかりにふたつの展示から考えます。

「レプリカ交響曲《広島平和記念公園8月6日》」（土屋大輔&ビジュアル・エスノグラフィ・プロジェクト）は、2015年8月6日、戦後70年目の広島平和記念公園の1日を17地点で撮影し、17台のモニターに映し出すインスタレーション作品です。そこに浮かび上がる情景は多様であり、多層的です。同時にそれは、戦争体験継承の多様性、多層性を表すものでもあります。

「8月6日のワンピース」は、1945年8月6日、学徒勤労動員中に被爆し、同12日に亡くなった木村愛子さんのものとして保管されていたワンピースを中心にした展示です。このワンピースは、戦没動員学徒の追悼施設を経て当館に引き継がれました。ここでは、愛子さんの爆心地での体験に近づくことを試みるとともに、遺されたワンピースを介してこれまで何が共有されてきたのかを再考します。

また、本展では最後に来館者にも展示の中で感じたこと・考えたことをアウトプットしていただきます。

過去と現在の“8月6日”の展示を通じて、来館者が主体的に戦争体験を想像し反芻する行為を促すことに、博物館における戦争体験継承のひとつの可能性を示します。

この展示は、JSPS科研費16K12814 「平和博物館における戦争体験継承のための展示モデル構築」（2016-2018）の助成を受け、プロジェクトの成果として実施するものです。

写真：土屋大輔&ビジュアル・エスノグラフィ・プロジェクト



立命館大学
国際平和ミュージアム

Kyoto Museum for World Peace,
Ritsumeikan University

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL 075-465-8151 FAX 075-465-7899

<http://www.ritsumeik.ac.jp/mng/er/wp-museum/>

【交通案内】

- JR・近鉄 京都駅より 市バス50・JRバス
 - JR・地下鉄 二条駅より 市バス55
 - 地下鉄 北大路駅より 市バス204・205
 - 京阪電車 三条駅より 市バス15・51・59
 - 阪急電車 烏丸駅より 市バス55
 - 阪急電車 西院駅より 市バス205
 - 地下鉄 西大路御池駅より 市バス205
 - JR円町駅より 市バス15・204・205
- * JRバス、市バス15・50・51・55・59にて「立命館大学前」下車徒歩5分
* 市バス204・205にて「わら天神前」下車徒歩10分
お車での来館はご遠慮ください

